インフラ運用を受託

三井情報（東京都港区、真野雄司社長）は、三井物産のデジタル総合戦略部が担うインフラ関連の管理・運用の一部に対して、包括的なインフラマネージド（運用型）サービスの提供を始めた。併せて同サービスの運用体制強化のため、日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ（日本TCS、同区）と業務委託契約を結んだ。同社のオフショア（海外委託）サービスを活用し、安定した運用体制を築く。三井物産に対して安定したグローバルネットワークの運用体制を構築し、得られた知見や実績を他のグローバル企業での運用モデルの展開時に応用する。

無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社